



奈良県感染症情報

令和2年 第30週(7月20日～7月26日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.50	(2.12)	→	↘	→	↓
2	突発性発しん	0.38	(0.74)	↘	↘	↓	↑↑
3	A群溶連菌咽頭炎	0.26	(0.35)	↓	↘	↓	↓
4	咽頭結膜熱	0.15	(0.15)	↑	↑↑	→	→
5	水痘	0.06	(0.03)	→	→	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

定点把握感染症の報告数は少ない状態で推移しており流行はみられません。感染性胃腸炎に関しては、大きく流行する時期ではないものの、例年に近い報告数となっています。

新型コロナウイルス感染症は、23日に、1日あたりで過去最多となる13名が新規感染者として発表されるなど、連日、複数の感染者が確認されています。感染経路として職場や学校、会食など家庭外で感染した家族の持ち込みによる家庭内での感染が推定される症例も増えています。また、新型コロナウイルス感染症は症状が出る前や軽症であっても他人に感染させるので、気づかぬうちに拡がっていることがあります。家庭内に持ち込まないために、不要不急な会食はできるだけ避け、普段から手洗いと咳エチケットを心がけましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

上肢、下肢全体に皮疹の強い手足口病の例があった。
他に、登録する感染症の流行は無い。
鼻風邪の乳幼児が見られるが、来院の患者数は少ない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

短期の発熱例が増加。アデノ様であるが検査せず確定診断に至っていない。
感染性腸炎がやや多い。水様便、腹痛、嘔気等の症状で短期・軽症。
手足口病、ヘルパンギーナ等の夏かぜ類は皆無。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ウイルス性咽頭炎、ウイルス性胃腸炎が散見。大きな流行にはなっていない。
手足口病等、典型的な夏かぜはほとんどみられない。
エアコンの寝冷えや暑さの倦怠感が増えているが、体調不良の原因を新型コロナウイルス感染を心配した受診がみられる。南部地区でも増加してきている。

知らないうちに、拡めちゃうから。



出典:厚生労働省 HP

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 30 週 7 月 20 日 ~ 26 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	5 (0.15)	1 (0.11)	2 (0.22)	1 (0.14)	1 (0.17)			
A群溶連菌咽頭炎	9 (0.26)	1 (0.11)	3 (0.33)	2 (0.29)	3 (0.50)			
感染性胃腸炎	51 (1.50)	9 (1.00)	16 (1.78)	10 (1.43)	15 (2.50)	1 (1.00)		
水痘	2 (0.06)		1 (0.11)		1 (0.17)			
手足口病	2 (0.06)	1 (0.11)			1 (0.17)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	13 (0.38)	2 (0.22)	4 (0.44)	3 (0.43)	3 (0.50)		1 (0.50)	
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎	1 (0.10)				1 (0.50)			
流行性角結膜炎								
葛城定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(郡山1、中和1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1) 梅毒1件(奈良市1)

❖ 第30週のトピックス ❖

クラスター対策班接触者追跡チームとしての疫学センター・FETPの活動報告(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/jisisekiipn/9744-fetp.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男			2	1		1																4
	女				1																		1
A群溶連菌咽頭炎	男				1	1	1		1			1											5
	女								1	2			1										4
感染性胃腸炎	男		2	3	2	5			2	3	1	2	5	1	3								29
	女		2	2	1	1	2		3	3	1	2	1	1	5								22
水痘	男								1		1												2
	女																						2
手足口病	男		1		1																		2
	女																						2
伝染性紅斑	男																						158
	女																						116
突発性発しん	男		3	4					1														7
	女		2	2	1																		6
ヘルパンギーナ	男																						15
	女																						17
流行性耳下腺炎	男																						8
	女																						11
急性出血性結膜炎	男																		1				1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						23
	女																						28
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						15
	女																						13
クラミジア肺炎	男																						1
	女																						1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						6

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

